

第9回全国修学旅行研究大会 講演要旨
(11月27日 神戸市総合教育センター)

特別活動における

修学旅行の意義(1)

文部省初等中等教育局

教科調査官 鹿嶋 研之助



鹿嶋 研之助

新学習指導要領の実施が二年を経過した。その趣旨が十分に理解され、定着しているか、まず前段で考えたい。

過日、文部省主催の教科担当指導主事研究協議会が開かれた。その特別活動部会で、中学校課の渡部教科調査官が冒頭に、「今、特別活動が冒頭に、「今、特別活動が危機」か、その一

つの表れとして、学校不適応の児童生徒の増加が挙げられると思う。中学校でいえば、「登校拒否」「不登校生徒」が年々増加し続けて

平成元年度・二年度にわたりて文部省の協力者会議

が開かれた。その特別活動部会で、中学校課の渡部教科調査官が冒頭に、「今、特別活動が危機」か、その一

つの表れとして、学校不適応の児童生徒の増加が挙げられると思う。中学校でいえば、「登校拒否」「不登校生徒」が年々増加し続けて

平成元年度・二年度にわたりて文部省の協力者会議

主体性を伸ばす班別行動



教諭 大磯 宏

埼玉県所沢市立富岡中学校

教諭

大磯

宏

教諭